

# 平成25・26年度磐田市社会教育委員会報告

## 【提 言】



磐田市社会教育委員会

近年、少子化・高齢化・高度情報化等の社会状況の変化により、地域の人間関係の希薄化や育児不安を抱える保護者の増加、児童虐待など、子どもの人権侵害を始めとするさまざまな問題が生じてきています。学校も家庭も地域も、それぞれに力を注いではいませんが、多くの困難や課題に直面しているのが現実です。

学校・家庭・地域が個々に教育力を発揮するよりも、互いに協力し連携を図りながら、ニーズに見合った活動を創出するとともに、地域の教育力（地域力）をさらに向上させていくことが、今、求められています。

地域力の向上は、学校教育・家庭教育・社会教育での学びの広がりや深まりを拡充させ、補完関係を築き、システムづくりをしていくことで、地域社会全体の成長にもつながるものと考えます。

磐田市社会教育委員会では、平成25・26年度において「地域の教育力の向上を目指して～学校・家庭・地域の連携～」を研究テーマとし、学校・家庭・地域が地域社会全体の教育力の向上をめざして、どのように連携すべきかについて検討しました。

その結果に基づき、次のとおり提言します。

#### 【提言】

**学校・家庭・地域の連携による地域の教育力向上をめざして、ネットワークづくりやプラットフォームづくりの推進が必要です。**

学校・家庭・地域をつなぐネットワークづくりやプラットフォームづくりを推進することで、それぞれの活動の幅が広がり、様々な人との関わりの中で地域の教育力が向上していくものと考えます。

そのためには、どのような場で、どのような人が、どのようなネットワークづくりの活動をしていくか、それぞれの役割も含め明確化して推進することが大切です。

また、学校・家庭・地域が一体となったネットワークをつくるためには、学校教育と家庭教育と社会教育がさらに連携を深め、情報や課題を共有し、解決の方向に進めていくことが重要であり、そのためのプラットフォームづくり（場づくり・仕組みづくり等）も併せて推進することが必要です。

## 【方策案】

### ◆学校・家庭・地域をつなぐ **場づくり**

地域では、様々な人や団体が素晴らしい活動をしています。しかし、それぞれが単独で活動していたり、相互の連携が十分でなかったりすることが多いことも現実です。

学校・家庭・地域の人や団体をつなぐためには、学校教育施設や交流センター等地域の拠点となっている各種施設の機能向上が重要です。

#### <具体的な対応例>

- コミュニティ・スクールのさらなる充実
- 交流センター等の整備と機能向上
- 図書館、博物館等の社会教育関連施設の充実及びあり方の研究
- 民間事業所等との協力・連携による施設等の活用のあり方の研究

・・・他

### ◆学校・家庭・地域をつなぐ **人づくり**

学校・家庭・地域が連携した活動を効果的に進めるためには、地域の現状や課題を把握し、ボランティアに関わる人たちを増やすと共に、それぞれの場面での確にコーディネートできる人材の発掘や、育成をしていくことが重要です。

#### <具体的な対応例>

- 学区及び学府への地域コーディネーター（CSディレクター）の配置
- 交流センターへの地域コーディネーターの配置
- 若者から高齢者によるボランティア活動、地域活動への積極的な参加促進や参画による意識の醸成
- 若者から高齢者を対象としたボランティアの育成や確保
- 若者から高齢者を対象とした地域コーディネーターの育成や確保
- 学校関係者、施設関係者、地域団体関係者、地域住民、市民活動関係者などによる課題意識の共有化と解決策の探求と実践活動をとおしてのネットワークづくり
- 民間事業所等との協力、連携による専門職・ボランティアなどの人材活用とネットワークづくり

・・・他

## ◆学校・家庭・地域をつなぐ活動づくり

学校・家庭・地域をつなぐ具体的な活動を、子どもや若者の直接的な参加を得て創出し、それに取り組み、振り返りをし、さらに活動を改善しながら進め、発展させていくことが重要です。

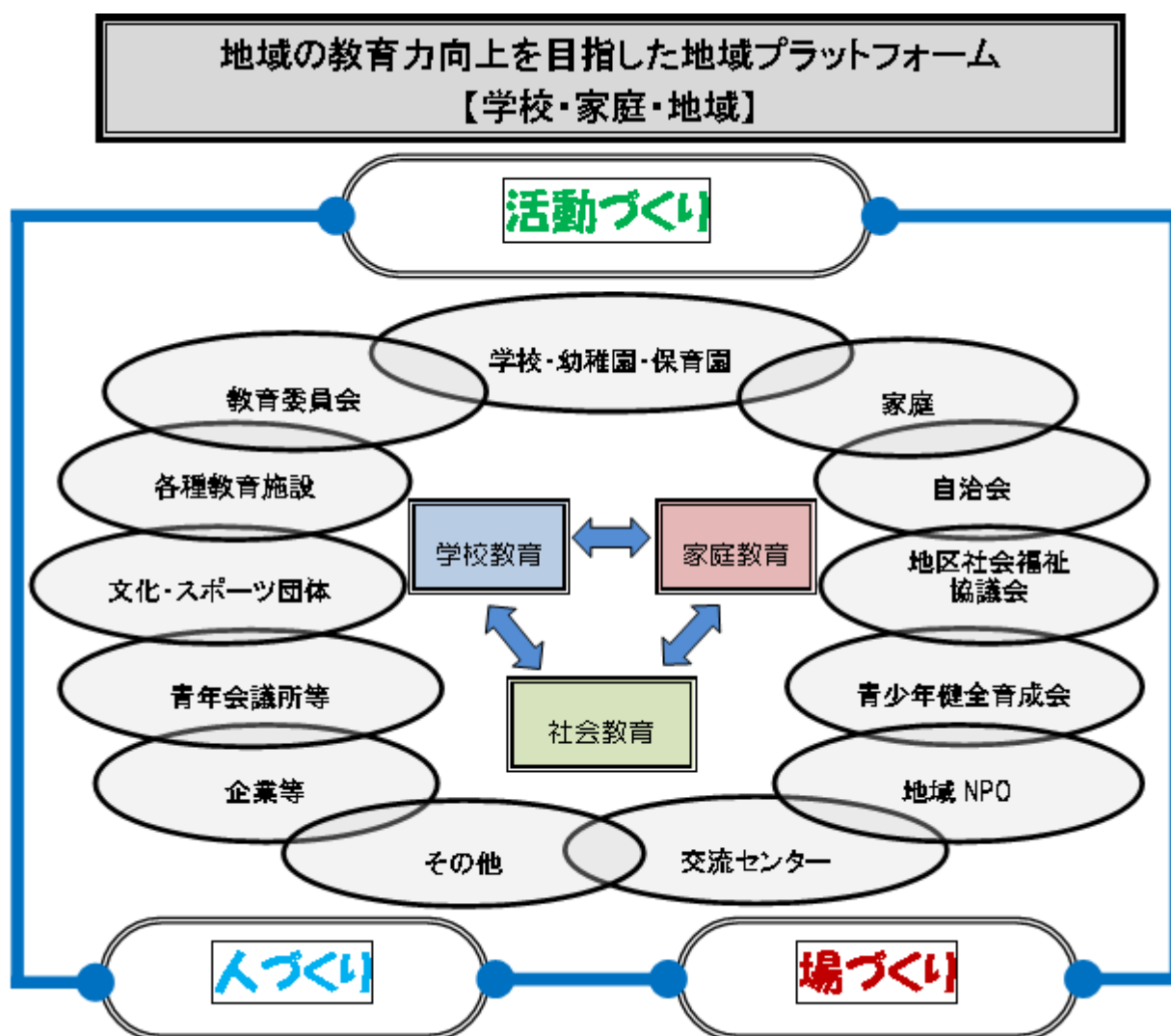
また、これらの活動を継続していくための努力も必要です。

### <具体的な対応例>

- 放課後や休日等の子どもたちへの居場所づくりや体験活動の創出
- 学校・家庭・地域相互の情報発信及び情報共有の工夫と充実
- 学校・地域・各種活動団体相互の連携・協力の推進ができる仕組みづくり
- 各種活動団体等への参加及び参画機会の創出
- 民間事業所等との協力、連携による活動の創出
- 学校・家庭・地域が一体となった地域活動の充実と発展

・・・他

## ◆地域プラットフォームのイメージ



## 磐田市社会教育委員会委員名簿

(任期：平成 25 年 6 月 1 日から平成 27 年 5 月 31 日まで)

	氏 名	職 名	備 考
1	小松 洋	磐田西小学校校長	25年度
	太田 修司	豊岡東小学校校長	26年度
2	鈴木 眞介	竜洋中学校校長	25年度
	山本 敏治	豊田中学校校長	26年度
3	伊藤 律夫	磐田南高等学校校長	25年度
	松田 好道	磐田南高等学校校長	26年度
4	浅羽 浩	静岡産業大学経営学部教授	
5	鈴木 正善	磐田市文化協会会長	
6	寺田 廣之	NPO 法人磐田市体育協会副会長	
7	山田 直博	磐田市PTA連絡協議会代表	25年度
	山木 清志		26年度
8	渡瀬 久生	磐田市子ども会育成者連合会会長	副委員長
9	三輪 邦子	NPO 法人磐田まちづくりネットワーク代表理事	委員長
10	根津 康広	磐田市議会議員	
11	松下 悦郎	磐田市民生委員児童委員協議会理事	～25年11月
	平野 君男		25年12月～
12	後藤 秀雄	公民館長連絡会代表	副委員長

## 磐田市社会教育委員会活動経過

平成 25 年度

回	期 日	内 容
第 1 回	6 月 5 日（水）	委嘱状交付、今期のテーマについて協議
第 2 回	7 月 12 日（金）	今期の協議テーマ
第 3 回	1 0 月 8 日（火）	磐田市教育委員会 教育長講話 「平成25年度磐田の教育について」 今期の協議テーマ
第 4 回	1 2 月 12 日（木）	今期の協議テーマ決定
視察研修	1 月 31 日（火）	富士市まちづくりセンター、焼津市東益津公民館
第 5 回	3 月 10 日（月）	委員による協議（現状と課題の洗い出し）

平成 26 年度

回	期 日	内 容
第 1 回	6 月 2 日（月）	委嘱状交付、25年度の協議内容と今期テーマの確認
第 2 回	7 月 23 日（水）	今期の具体的な提言の方向決定
第 3 回 視察研修	9 月 6 日（土） 9 月 27 日（土）	NPO 法人しきじ土曜倶楽部視察訪問
第 4 回	1 1 月 5 日（水）	委員による協議（今期の提言内容協議）
教育委員との 懇談会	1 月 23 日（金）	教育委員との懇談会
第 5 回	1 月 23 日（金）	委員による協議（今期の提言内容協議）
第 6 回	3 月 6 日（金）	委員による協議（今期の提言について 最終）